

～ 熱海銀座 体験交流によるコミュニティづくり事業 ～

温泉等の地域資源を活用した体験型プログラムを企画。マップ付フリーペーパーや動画の配信等でこれらの情報と商店街の魅力を発信。さらに空き店舗活用によるアート作品の制作・展示等を通じて地域住民とのつながりを強化し、新たな顧客層の開拓に弾みをつけた。

所在地：静岡県熱海市銀座町8-11
 TEL：0557-81-2575 FAX：0557-52-4531
 URL：<http://www.siz-sba.or.jp/atamignz/>
 組合員数：34名
 商店街の類型：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

当商店街は、有名な熱海温泉の中心部に位置し、土産品からファッション・生活雑貨等の業種構成となっており、かつては“人と肩がぶつからないと歩けない”と言われたほどの街。現在は、観光客は熱海駅周辺、生活者は近隣の大型店等に流れ、観光シーズン以外は人通りが減って空き店舗も増加している。観光客だけでなく、地域のニーズに応じて新たな客層の開拓やファンづくりが喫緊の課題となっており、本事業では、地域資源を生かした新たな魅力づくりに取り組んだ。

実施した事業の概要

①熱海銀座 体験交流博覧会（平成27年2月21日～3月8日）

店主が講師となり、街ゼミや街歩き等の要素を盛り込んだ体験型のイベントを実施。「昔ながらのこだわり喫茶店巡り」「まちなか歩きとゆったり温泉」「カラダがキレイになる野菜の秘密」等8つのコースを設定し、57名の方に参加頂いた。

②熱海銀座芸術祭の開催（平成26年11月28日～平成27年3月8日）

商店街の空き店舗を活用し、アート作家が長期滞在して作品を制作。商店街の個店でこれらを展示し、街のイメージ向上と空き店舗活用の可能性を探った。また、専門家を招いてのアート・ワークショップを計5回開催。「DIY教室」や「写真ワークショップ」を実施したほか、公開制作と展示会を行い280名の方が参加された。

③熱海銀座リノベーション・ワークショップの開催

店舗や住宅の改装を行う“リノベーション”をテーマに第一線の専門家を招いてワークショップを2回開催、延べ92名が参加された。空き店舗の解消策等今後の街の在り方や店舗の改装を自ら行う方法等について説明を受けたほか、実際に、空き店舗の清掃方法、工具の使い方やペンキの塗り方等について体験しながら学ぶまたとない機会となった。

④広報・マーケティング事業

商店街全体のマーケティング・ブランディング戦略の立案、個店の販売戦略等についての講習会を開催、『商店街の組合だけでは活性化できない』等のテーマに70名の方が参加された。また、主として女性をターゲットとしたフリーペーパー『あたみのつかいかた』を発行し、街歩きにおける地域資源や個店紹介の一助とした。



成果と成功の要因

「体験交流博覧会」については、地域の住民等とのネットワークを有する「熱海温泉玉手箱実行委員会」の協力を得たことにより、新たな客層を呼び込むきっかけとなった。「アート作品の制作・展示」では空き店舗活用に加えて、アートによる商店街イメージの向上が図られたほか、イベント参加者の中から店舗を持ちたいと希望する人が現れる等商店街活動に協力的な状況となり、将来への期待が膨らんだ。本事業の成功の要因は、商店街の若手を中心となって企画から運営に当たったことで、これまでになかった斬新なテーマを見事に成功させることができた。

今後の取り組み



今回の成功を踏まえ、商店街の若手中心に街づくりのノウハウが身についたことから、今後はこれらのメンバーが中心となって自主的に事業を継続していく予定である。DIYによる店舗改築等もメンバー主導で可能である。資金面では、組合で予算化するとともに参加料の徴収が可能な講座等を検討していく。